

## 市のコミュニティ施策について(令和2年度の取組み)

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画」の周知に努めるとともに、当該計画を踏まえた住民主体による持続可能な地域づくりに向けた取組に対して支援を行い、地域の特性を活かした地域コミュニティの維持、活性化を図った。

第2次総合計画に基づく「助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進」のため、組織基盤強化と担い手の確保・育成に向けた支援に取り組んだ。

### 1) 地域コミュニティ活性化の推進

「鶴岡市地域コミュニティ推進計画(H28～R2)」の最終年として、現計画を検証するとともに現状と課題を分析・整理した。引き続き地域コミュニティの活性化を計画的に推進していくため「第2期鶴岡市地域コミュニティ推進計画」の策定に取り組んだ。

#### ①地域ビジョン策定に向けた取組について

地域の現状を把握し、地域のあるべき姿(目標)を定め、具体的な取組事項を計画する「地域ビジョン」策定を支援した。

##### ○地域ビジョン策定済 8組織

藤島地区(藤島)、宝谷地区(楡引)、朝日東部地区(朝日)、越沢地区(温海)、加茂地区(鶴岡)、三瀬地区(鶴岡)、手向地区(羽黒)、福栄地区(温海)

※朝日地域、温海地域においては、平成23～25年度過疎地域集落対策事業により集落ビジョンを策定 朝日地域6組織、温海地域10組織

##### ○地域ビジョン策定中及び策定予定地区 11組織

第二学区(鶴岡)、黄金地区(鶴岡)、湯田川地区(鶴岡)、小堅地区(鶴岡)、由良地区(鶴岡)、東栄地区(藤島)、長沼地区(藤島)、渡前地区(藤島)、泉地区(羽黒)、羽黒第四地区(羽黒)、宮名地区(温海)

#### ②鶴岡地域まちづくり未来事業の実施

「地域まちづくり未来基金」の設置目的である「地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展」を図るため、「人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する」事業を地域まちづくり未来事業として位置づけ、地域ごとに実施している。鶴岡地域では、広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり(プロジェクト)を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進する。

○令和2年度採択件数:8件 補助金確定額合計:17,759,487円

≪資料:鶴岡市鶴岡地域まちづくり未来事業実施状況について P4≫

## 2) 住民自治組織と広域コミュニティ組織の活動支援

住民自治組織に対し持続可能な体制整備を促すとともに、活動への支援、身近な地域課題解決に向けた取組を支援した。

### ①広域コミュニティ組織の育成・支援

鶴岡市内に33組織(鶴岡地域21、藤島地域5、羽黒地域4、朝日地域3)ある広域コミュニティ組織に対して「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」を交付し、組織運営の支援や地域事情に応じた様々なコミュニティ活動を支援するとともに各種研修会等の実施及び情報提供を行い、組織の育成及び機能強化に取り組んだ。

また、各地域の広域コミュニティ組織連合組織の会議等に出席し、市からの情報を提供しながら、運営や研修等に支援を行った。

《資料:各地域の取組報告 P11》

### ②単位自治組織の維持と負担軽減に向けた支援

世帯数や条件不利地域に配慮した「住民自治組織総合交付金」を交付し、各自治組織の特色を活かし、地域事情に応じた交付金の活用を促進するとともに、活動拠点の整備については、「公民館類似施設整備費補助金」による支援や各種補助制度等の情報を提供し、単位自治組織の維持、運営を支援している。

○公民館類似施設整備費補助金…採択件数:5件

### ③「アドバイザー職員制度」の運用

地域課題の解決や地域ビジョンの策定、事業実施、体制づくりなど、地域の求めに応じて職員をアドバイザーとして派遣し、引き続き地域の主体的な活動を後押ししていく。

○令和2年度 アドバイザー派遣 16地区(32名)

《資料:地域づくり活動を支援する「アドバイザー職員制度」 P7》

## 3) 生涯学習の推進

コミュニティセンター、地域活動センターを拠点として活動する広域コミュニティ組織に「広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金」を交付。櫛引地域と温海地域は、単位自治組織に「公民館類似施設運営・活動費補助金」を交付し、生涯学習を支援している。

また、コミュニティセンター等を活動拠点に、住民の多様な学習活動や交流活動など事業をまとめた「生涯学習事業記録」を作成・配付し、広域コミュニティ組織等に情報提供するとともに、各地域に生涯学習推進員を配置し、運営組織(コミセ

ン等事務局)等と連携を図りながら、地域の状況に合わせた効果的な事業展開が図られるよう支援している。その他、スキルアップの為、生涯学習推進員、生涯学習関係職員を対象とした研修会を開催した。

《資料:地域づくりにつながる生涯学習の推進 P8》

#### 4) 各種研修等の実施について

##### ①鶴岡市住民自治組織合同研修会・鶴岡市公民館連絡協議会研究集会 合同

###### 「つるおかみらいフォーラム」

日 時 令和2年12月11日(金)

会 場 Zoomを利用したオンラインを活用し、16会場と講師をつなぎ開催

対 象 鶴岡市内単位住民自治組織(町内会等)代表者、自治公民館関係者、広域  
コミュニティ組織関係者、市職員

参加者 169名

内 容 (1)講演 「コロナ禍におけるコミュニティ活動の進め方」

講師 NPO法人 全国コミュニティライフサポートセンター

地域支え合い推進センター 主幹 橋本 泰典 氏

(2)情報提供 住民自治組織総合交付金等の活用について

優良事例発表…大宝寺第一町内会長 三浦慎士 氏

##### ②住民自治組織課題別研修会

コロナ禍においてオンライン会議が活用されているため、各広域コミュニティ組織の事務職員が zoom をゲスト・ホストどちら側でも使用できるように体験会を行った。

日 時 令和2年11月～12月

対 象 広域コミュニティ組織事務職員(33組織)

※羽黒地域は既に羽黒庁舎総務企画課で体験会を実施済みのため除外

参加組織 26組織

内 容 「zoom体験会①」(個別研修)

・ミーティングに参加してみよう(ゲスト)

・ミーティングを開催してみよう(ホスト)

「zoom体験会②」(複数の広域組織をつなぎ開催)

・他の広域コミュニティ組織職員とミーティングしてみよう

# 「鶴岡市鶴岡地域まちづくり未来事業」実施状況について

地域社会・コミュニティの振興及び均衡ある発展を図るため、人口減少に立ち向かう、真に地域振興に資する事業を“地域まちづくり未来事業”として位置付け、鶴岡地域の広域コミュニティ組織が未来に向け取り組むまちづくり(プロジェクト)を支援し、住みよい、活力あふれる地域コミュニティの構築を推進しています。

## 令和2年度採択事業 8件

1	<b>団体名</b> ：三瀬地区自治会 [2年目]
	<b>事業名</b> ：三瀬地区地域ビジョン推進事業
	<b>補助金確定額</b> ：872,500円
	<p><b>事業概要</b>：策定完了した「三瀬地区地域ビジョン」について、「三瀬イズム 住むを楽しむコミュニティ」をキャッチフレーズに住民への周知を図る。地域ビジョンに基づき具体的な事業を実施し、ビジョンの浸透、目標達成を図り、住民の不安解消、地域特性の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三瀬散歩コースの認定事業</li> <li>・マイ防災カード設定事業</li> <li>・子育て等の環境整備事業</li> </ul>
	 <p>&lt;子育て環境整備事業&gt; 放課後子ども教室を基に、子どもの見守りのための仕組みづくりに取り組みました。</p>
2	<b>団体名</b> ：田川地区自治振興会 [2年目]
	<b>事業名</b> ：「田川太郎の里づくり」プロジェクト事業
	<b>補助金確定額</b> ：7,584,910円
<p><b>事業概要</b>：平安時代に田川地方一帯を治めていた歴史上の人物「田川太郎」を切り口(キーワード)として、歴史資料展示室の整備や歴史案内板の設置等のハード事業と、田川太郎のキャラクター作成等のソフト事業を組み合わせ、地域の活性化及び人材育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史資料展示室整備</li> <li>・ガイドプレート設置 調査</li> <li>・キャラクター作成</li> </ul>	
3	<b>団体名</b> ：第二学区コミュニティ振興会 [2年目]
	<b>事業名</b> ：天神祭を中心とする活力ある地域創生プロジェクト～天神祭 人づくりプラン～
	<b>補助金確定額</b> ：1,197,000円
<p><b>事業概要</b>：地域の特色ある行事として定着している天神祭を核として「天神祭の賑わい」を創ること、「二学区の人財」を活かすこと、二学区の歴史・文化を発信し「地域への誇り」を育てることを事業の3つの柱として実施。若手有志の会の組織化、賑わいの創出準備、街歩きマップリーフレット等の作成準備に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手有志の会正式発足</li> <li>・歴史マップ&amp;看板準備</li> <li>・賑わい準備</li> </ul>	
4	<b>団体名</b> ：加茂地区自治振興会 [2年目]
	<b>事業名</b> ：地域ビジョン実施事業
	<b>補助金確定額</b> ：2,724,000円

	<p><b>事業概要：</b>加茂地区地域ビジョンの5つの柱のうち、「自然・風景を活かしていくための活動」と「加茂の歴史・教育を守り伝えていくための活動」の2つについて事業展開する。昨年度まとめたビューポイントをマップとして作成。日本遺産「北前船寄港地」追加認定周知のため、歴史マップ作成、案内看板設置、ガイド養成などを実施。帆船乗組員が加茂に残した「泊町大黒舞」の継承用読本を製作。地域ビジョンに掲げている目標に向け取り組むとともに、地域活性化や人口減少対策に繋げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビューポイントマップ作成</li> <li>・看板作成</li> <li>・歴史ガイド事業(マップ・ガイド養成)</li> </ul>  <p>＜歴史ガイド事業＞ ガイド養成講座を5回開催し、加茂の魅力発信の準備を進めました。</p>
5	<p><b>団体名：</b>小堅地区自治振興会 [2年目]</p> <p><b>事業名：</b>遊休家屋をシェアハウスに、コミセン2階をシェアスペースに“交流”から始まる新しい関係づくり。そこから生み出す地域活動と安全・安心な暮らし</p> <p><b>補助金確定額：</b>3,300,000円</p> <p><b>事業概要：</b>遊休家屋のリノベーションによる移住者用シェアハウスと交流スペース、また、コミセン2階に多様なメンバーが交流できるスペースを整備する。交流機能を持つ住居と空間の設置を通じ、これまで集まって話したり一緒に活動することが少なかった若者・子ども・子育て世代、来訪者をつなぎ、関係人口の拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ビジョン策定</li> <li>・シェアハウス屋外交流スペース整備</li> </ul>  <p>シェアスペースを利用した各種イベントの実施により、地域住民、外部の個人・団体等の交流を通じた関係人口の創出が図られています。</p>
6	<p><b>団体名：</b>湯野浜地区自治会 [1年目]</p> <p><b>事業名：</b>湯野浜のみらいに舵をとれプロジェクト ～さあ、波に乗ろう!!～</p> <p><b>補助金確定額：</b>1,235,000円</p> <p><b>事業概要：</b>夕日百選の日本海や砂浜、温泉等魅力的な自然環境を活かし、住民が心豊かに楽しみながら過ごせる場所の創出を目指す。合わせて観光客の増加、交流人口の拡大につなげる。海岸遊歩道美化活動、サイクリングロードの環境整備、ロゲイニング企画実施等住民参加による楽しくまちづくり活動を実施し、一体感の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸遊歩道美化活動</li> <li>・ロゲイニング企画実施</li> <li>・サイクリングロード環境整備</li> </ul>  <p>＜ロゲイニング大会の実施＞ 名所旧跡を巡るスポーツイベント「ロゲイニング大会」を開催し、地域の魅力を市内外に発信しました。</p>

7	<b>団体名</b> ：第六学区コミュニティネットワーク [1年目]
	<b>事業名</b> ：「共生のまち6楽暮～世代を超えてつながる居場所づくり～」プロジェクト
	<b>補助金確定額</b> ：404,077円
	<p><b>事業概要</b>：第6学区内において、特に高齢化率が高く、単身高齢者世帯や空き家が増えている現状等同じ課題を抱えている町内会を集約してモデル地区として設定し、住民ニーズに対応した活動の実施や仕組みづくりを行う。困りごとを気軽に話し合える居場所づくり等課題解決に向けた取り組みを展開していくことで、安全、安心に暮らせる地域を目指す。</p> <p>・活動内容の検討    ・組織の設立    ・拠点施設の検討</p>
8	<b>団体名</b> ：斎地区自治振興会 [1年目]
	<b>事業名</b> ：地区住民が郷土を知り、誇りと魅力を発信するまちづくりプロジェクト
	<b>補助金確定額</b> ：442,000円
	<p><b>事業概要</b>：斎地区の文化や暮らし、人物等の歴史調査を地区住民全体で取り組み、継承ツールとして小冊子とDVDを製作する。地域めぐりを企画するとともに、講座や子ども会活動等に幅広く活用し、住民が地域の魅力や歴史文化を身近に感じ理解を深めることで、誇りや郷土愛を育む仕組みづくりをする。特に「雪の降る町を」発想の地を積極的にまちづくり活動に活用し、内外に発信していく。</p> <p>・「斎ものがたり」小冊子の作成    ・「雪の降る町を」冊子及びDVD制作</p>

### 【取り組みの成果】

- ビジョン策定後、計画遂行のための事業に取り掛かりやすい環境が整備された。 ビジョン策定済み地区においては、目指す姿の実現に向けた取組が着実に進められている。
- 地域の担い手が活躍できる環境や体制ができている。
  - ・天神祭の神輿の若手担ぎ手有志を組織化（第2学区）
  - ・交流拠点を整備し、若者組織「未来創造部会」が地域の課題解決に向けた取組を開始している。（小堅）
  - ・途絶えつつあった伝統芸能が若者によって継承され、活発に活動の場を広げている。（加茂）
  - ・体協を中心に若者が「ロゲイニング大会」を企画し、地区の魅力を地域内外に発信した。今後も継続して実施する等、まちづくり意識をもって取り組む体制ができつつある。（湯野浜）
- 補助事業の活用を機にまちづくり活動に対する意識が高まり、ビジョン策定開始に繋がっている。（第2学区）また、補助事業活用を前提に、地域ビジョン策定に取り掛かる地区が増えている。（大泉、湯田川、由良）
- 関係人口の増加
  - ・小堅地区では、シェアハウスに入居した方が期間終了後に定住の意向を示しているケースがある。
  - ・公益大の学生による小堅地区ファンクラブ「こがたん」や加茂地区での地域貢献活動を主軸にしている「加mon!」等の活動により、各地区の関係人口の増加につながっている。
- 住民が地域の魅力や歴史文化を身近に感じ、誇りや郷土愛を育む取組を行う中で、域外にも広く発信することから、本市の魅力発信に貢献している。
  - ・加茂地区の日本遺産発信の取組    ・湯野浜地区のロゲイニング大会の実施
  - ・第2学区の小学校の学習活動と連携した取組

# 地域づくり活動を支援する「アドバイザー職員制度」

## アドバイザー職員制度とは

地域の問題解決に向けた住民主体の地域づくり活動を促進するため、地区の要請に応じて配置された職員がアドバイザー等の支援を行う「アドバイザー職員制度」を実施しています。

### 【アドバイザー職員の役割】

支援要請があった地区に、支援内容に通じた職員が支援を行う。  
地区の主體的な取り組みに対し、地域事情に応じた支援を重点的に行う。

- (1) 地域ビジョン策定や事業の取組に係る助言及び情報提供
- (2) 地区の課題解決に向けた取組に係る助言及び情報提供
- (3) 地域づくり活動の促進に関し必要な助言及び情報提供

※計画策定後の事業の取り組みに伴い必要な支援が生じた場合も同様に支援する。

※主體的な実施事業への参画を行うものではなく、住民自治組織の事務局を窓口とした助言を想定

- ・住民主体の地域づくりを推進
- ・自治組織強化
- ・地域活動の担い手確保に繋げる

## アドバイザー職員制度活動状況 (令和2年度)

地区	内容	地区	内容
1 (鶴)第二学区	まちづくり未来事業の取組への助言(案内板の作成と天神祭の賑わい創出に向けた取組)	9 (鶴)由良地区	地域ビジョン策定のワークショップ支援
2 (鶴)第三学区	地域課題解決への支援(情報共有ツールFB導入に伴う、講習会や意識啓蒙への助言)	10 (鶴)湯野浜地区	まちづくり未来事業の取組への助言(散策路ロゴデザイン企画)
3 (鶴)第六学区	まちづくり未来事業の取組への助言(空き家等の有効活用の検討、高齢者の居場所づくり)	11 (藤)藤島地区	地域課題解決への支援(学習支援室の開設準備、地域学校協働活動の情報提供)
4 (鶴)黄金地区	地域ビジョン策定の取組への助言(予定)	12 (藤)東栄地区	地域ビジョン策定のワークショップ支援
5 (鶴)大泉地区	まちづくり未来事業取組へのワークショップ支援	13 (羽)手向地区	地域ビジョン実行・推進の取組への支援
6 (鶴)京田地区	ワークショップの支援(予定)	14 (羽)泉地区	地域ビジョン策定のワークショップ支援
7 (鶴)田川地区	まちづくり未来事業の取組への助言(歴史資料の展示整備)	15 (羽)羽黒第四地区	地域ビジョン策定のワークショップ支援
8 (鶴)三瀬地区	地域ビジョン実行・推進の取組への支援	16 (温)鈴地区	地域課題解決への支援(廃校利用について、ワークショップの実施)。

◆令和3年度：支援要請17地区。31名のアドバイザー職員を配置 (令和3年7月現在)

## 地域づくりにつながる生涯学習の推進（令和2年度）

生涯学習推進員 153 名

活動回数 1021 回（活動回数は、概ね半日単位の活動を 1 回とした延べ回数）

令和3年3月活動分まで

区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	櫛引生涯学習センター	広域コミュニティ単位	温海ふれあいセンター、地区自治会	
	18	5	4	1	3	5	36
R2 人数	63	26	19	9	16	20	153
活動回数	292	247	253	26	60	143	1021

※ 令和2年度の生涯学習推進員の任期は2年（再任も可）

※ 温海地域の4つの地区自治会は館を持たない広域組織

### ○令和2年度の主な活動内容 ※\_\_\_\_\_特色的な事業

#### 鶴岡地域

- ・各種講座の企画立案、運営（成人講座、高齢者講座、健康講座、宇宙への道しるべ講座・加茂 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（良い子を育てる地域推進事業・第1学区、こどもクッキング教室・第5学区、金峯少年教室・黄金、高館山少年教室・大山 等）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（コスパふれあい講座ロゲイニング大会・湯野浜 等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（コミセン祭り、文化展、写真展 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（グラウンドゴルフ、ソフトボール、ボーリング 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（第三学区 Facebook 初級講座、地域まちづくり未来事業・湯野浜 等）

#### 藤島地域

- ・各種講座等の企画立案、運営（藤島：手作りキャンドル教室、ヨガ教室、東栄：地域学習講座、八栄島：成人講座（講演会、料理教室）、長沼：藁工芸教室、渡前：成人講座・郷土史セミナー、等）
- ・青少年育成事業等の企画立案、運営（藤島：親子ふれあい事業・小学生夏休み宿題塾、陶芸教室、中学3年学習支援室、ふじっ子おうち de ウルトラクイズ、東栄：アソベンチャークラブ、老人クラブの活動、八栄島：わらしっこ楽園、中学生事業、長沼：わんぱく広場、中学生ボランティア活動、渡前：ドリームランド、さくら回廊芋煮会、等）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等（藤島：文化講演会・センターフェスタ、八栄島：活セン祭り、長沼：長沼秋まつり、渡前：芸術文化祭、等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（全地区：グラウンドゴルフ大会、藤島：軽スポーツ大会、東栄：グラウンドゴルフ大会、冬季健康教室、八栄島：老人レク大会・冬季レク大会、長沼：グラウンドゴルフペア大会、ウォーキング大会、渡前：ウォーキング教室 等）



- ・地域づくり活動の企画立案、運営(全地区：あったかボランティア事業・防災救急関連事業、藤島：防災セミナー、避難訓練・避難所運営訓練、除雪サービス、クリーン作戦、東栄：防災研修、福祉研修会、八栄島：町内会三役研修会、長沼：救急法講演会、ふれあいデー、渡前：総合研修会、防災研修会、等)

### 羽黒地域

- ・各種講座の企画立案、運営（にこにこ料理教室、しめ縄かざりづくり・泉、高齢者はつらつお楽しみ会・広瀬 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（羽黒山朝山登山・手向、木のやさしさ工房、親子クッキング、ミニ門松づくり、雪づくり塾・泉、もの作り教室、親子料理教室・広瀬、こだま秋の家、親子クッキング教室・第四）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（山のつどい）
- ・文化祭、作品展等の企画立案、準備等(各地区文化祭・広瀬・泉 等)
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営(親睦球技大会・手向、ナイターバレー・広瀬 等)
- ・地域づくり活動の企画立案、運営（青少年を語る会・全地区、防災訓練・各地区 等）

### 櫛引地域

- ・趣味の講座の企画・運営（草木染め、座禅、陶芸）
- ・くしびき文化祭の運営
- ・生涯学習推進員会議の開催

### 朝日地域

- ・各種講座の企画立案、運営（「朝日いきいき大学」講座 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案、運営（とりキャン※ジュニアキャンプ代替事業）
- ・地域イベントへの企画立案、運営（文化まつり、芸能文化まつり、敬老会 等）
- ・スポーツイベントへの企画立案、運営（軽スポーツ大会、グラウンドゴルフ大会 等）
- ・地域づくり活動の企画立案、運営(かたくりの子四つの運動 等)

### 温海地域

- ・各種講座の企画立案と運営（赤かぶ大学、国際理解講座、ふれセンみんなの講座、陶芸教室、絵が泳ぐ水族館 等）
- ・少年教室、子ども教室、勉強会等の企画立案と運営（青少年ボランティア養成講座、遊び場計画、星空観測、ハロウィンパーティ、あつみ地域未来塾 等）
- ・イベントへの企画立案と運営（あつみ音楽好きのコンサート、カラオケ大会）
- ・温海文化祭の企画立案と運営

## ○生涯学習推進員の研修

<令和2年度 鶴岡市生涯学習推進員・生涯学習関係職員合同研修会>

開催日 令和2年12月17日(木)

場 所 鶴岡市役所、藤島庁舎、羽黒庁舎、櫛引庁舎

朝日中央コミュニティセンター、温海庁舎

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインを活用し上記6会場と講師、事例提供者をつないだ。

内 容 研修「コロナ時代を生きる地域づくり～生涯学習事業編～」

- ・コロナ禍で工夫している他地域の生涯学習事業の紹介
- ・今後の生涯学習事業の方策及び方向性

講 師 廣瀬 隆人 氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事)

事例提供者 桑島 英理佳 氏(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 理事)

参加者 生涯学習推進員、広域コミュニティ組織関係職員、市職員など69名

## ◆令和3年度

生涯学習推進員 164名

区分	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	合計
配置地区数	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	広域コミュニティ単位	櫛引生涯学習センター	広域コミュニティ単位	温海ふれあいセンター、地区自治会	
	18	5	4	1	3	5	36
R3人数	73	26	19	10	16	20	164

# 令和2年度 各地域の取組報告

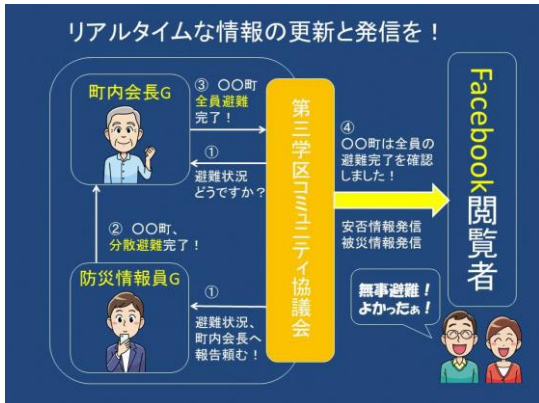
## ☆鶴岡地域の取組み

### 《地域課題解決に向けた取組み》

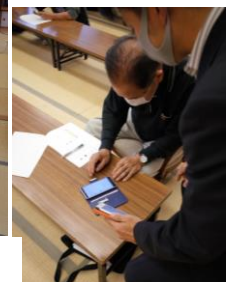
#### ◆第3学区の取組み◆

##### Facebook を使った情報発信事業

第3学区では、学習講座やイベント等の情報発信、災害発生時の迅速な情報伝達、情報共有を目指し、Facebookの導入に取り組みました。SNSを活用し、学区住民のだれもが「一斉に時間差なく」送受信できる環境を整え、日常の情報交換、情報提供の場として利用しています。



町内会長グループもできました。



スマホを操作しながら、楽しく勉強会を開催

#### ◆三瀬地区の取組み◆

##### 除排雪支援活動&地域間労力交換事業

さんぜスノースイーパーによる地区内の除排雪支援活動と合わせて、除雪を介した「労力交換」で大網地区・酒田市日向地区と地域間交流を行っています。令和2年度は、お手伝いの他に安全技術を高める活動も行いました。



2月11日(木)  
朝日東部地区へ  
雪下ろし講習・雪かき体験会



### 《地域ビジョンの策定がスタート！》

身近な地域課題を解決するため、地域特性を活かした「地域ビジョン」策定の取組みが進められています。

- 第二学区・・・策定完了した加茂自治振興会事務局長を招いて講演会を実施。文化祭で地区の良い点悪い点等住民の声を集めるコーナーを設置
- ◆黄金地区・・・住民アンケートを実施。新年度から策定委員会を発足。
- ◆湯田川地区・・・策定検討委員会を発足。住民アンケート準備中。
- ◆由良地区・・・策定委員会を発足。住民アンケートやWSを実施。
- ◆小堅地区・・・まもなく完成予定！



地域ビジョン策定のため、住民アンケートやワークショップに取り組んでいます。

# 藤島地域の取組み

## 《地域ビジョン》

### ◆藤島地区の取組み◆

#### 藤島地区 地域ビジョン達成計画図



要 点	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
◎ アンケート回収率98%。関心度が高く、同じ課題を抱えている方が多い。	◎ アンケート回収率98%。関心度が高く、同じ課題を抱えている方が多い。	◎ ワークショップでは交通弱者対策の声が大。	◎ 小・宿題塾は22名の応募に登録した8名の先生で対応。初年度としては保護者、学校側より好評を得た。	◎ 小・宿題塾は27名で、先生も12名に増員。さらに充実の感。効率的運営のため低学年は地域の方々に依頼予定。	◎ 小・宿題塾は45名で、大幅に参加者増。学力向上に貢献し、小学校からも好評価を得ている。
◎ 「こんなまちにしたい」では、①住みよい環境づくりに住民が参加できるまち②子供達の声が聞こえるまちづくり、が重点として位置付けされている。	◎ 「こんなまちにしたい」では、①住みよい環境づくりに住民が参加できるまち②子供達の声が聞こえるまちづくり、が重点として位置付けされている。	◎ 多くの意見がイベントに終始するのではなく、日常生活を支える基本的なサービスの方々の声が多い。特に女性の声が多い。	◎ 除雪サービスは利用者、サポーターとも少なく、PR不足。	◎ 避難情報6回。災害対策室対応マニュアルにて実施。災害の種類・規模に応じた人員配置の必要。(活性化の定義を追加)	◎ 小学生書初め教室に28名参加。地元の講師に指導を依頼した。
		◎ 高齢者の意見が多かったのは除雪対策。	◎ 災害対策では警戒配備体制はとれた。	◎ 6/18 山形県沖地震・10/12 台風19号接近に伴う避難所開設に対応。	

自主防災・地域福祉・地域活性化それぞれの事業は将来像に向かって。実行に限度はあるが、自治振興会は町内会の共同体であることを

平成28年度に作成した、第1次地域づくり5ヶ年計画(地域ビジョン)に従い、地域課題の解決に向け活動している。今年度は小学生夏休み宿題塾や、書初め教室、高齢者宅玄関先除雪サービス、災害防災対応に取り組んでいます。



## 《地域づくりワークショップ》

地域の現状や課題について住民自らが把握・整理する取り組みや課題解決に向けたワークショップなどを開催しています。

### ◆東栄地区の取組み◆

東栄地区では、地域づくりについての検討会(東栄語る会)を中心に、地域ビジョン策定に向けてワークショップを開催しています。



羽黒地域の取組み...各地区ともコロナ感染予防策を講じつつ、これまでの事業を見直し、地域特色を活かした新しい地域活動スタイルを考え実施しました。



**【新企画】ツリーイング教室**

令和2年10月18日(日) 蝦夷館公園利活用事業としてツリーイング(木登り体験)教室が開催。松の木の枝にロープをかけて、空中散歩や日常にない視点での自然観察を楽しみました。天気にも恵まれ久々に子供たちの笑い声を聞くことができました。(参加者 50名)

**【新企画】親子でミニ門松を作成**

令和2年12月26日(土) 地元の方を講師に招き門松作りを開催。親子のふれあいを深め四季の移り行く美しさ、新年を迎える喜びを味わうことができ和やかな雰囲気でも過ごせました。(参加者 50名)



手向

泉

広瀬

羽黒  
第四



**【新企画】夏休み学習応援プロジェクト**

令和2年8月5日(水)、6日(木)

1日目は、夏休みの課題を持参し、現役大学生と生涯学習推進員にサポートしてもらい勉強会を開催。2日目は、学習後スライム作りをし、和やかな雰囲気でも充実した時間を過ごせました。

(参加者 子ども40人(1日20人限定) 大人10人(延べ人数))

**【既存事業見直し】親子クッキング教室「飾り巻きずしと季節の果物のクレープ作り」**

11月15日(日) 午前10時~正午

例年の開催形式を見直し、半日・会食なし・会場を3つに分け開催。親子同士、友達同士でクッキングを通じ楽しい時間を共有できました。

(参加者 子ども19人 大人18人)

## 櫛引|地域の取り組み

### ◆松根地区の取り組み◆

山形新聞



松根地区では、新型コロナウイルス感染症のため敬老会が中止となったことから、75歳以上の地区住民全員に対して、独自に商品券を作成し配布した。商品券は1枚200円分の7枚つづりで地区内の3商店でのみ使用ができるもの。作成費用は敬老会予算が充てられた。地区の振興や孫など家族間交流も期待し作成され地区住民から大変好評を得られた。

### ◆宝谷地区の取り組み◆



「そばこのおやつ」イメージキャラクター「そばこちゃん」顔はめパネル



ピザ窯製作の様子



宝谷キャンプ場のピザ窯

地域おこし協力隊員とともに地区の情報・魅力発信に取り組んだ。イメージキャラクターグッズを使った宝谷地区の情報発信キャンペーンをはじめ、キャンプ場ではピザ窯製作の様子をSNSで配信。また、宝谷で製造・販売しているそばの加工品「そばこのおやつ」が「食の鶴岡県外学生応援事業」のセット商品として希望する学生に配布されるなど、宝谷を多くの人に知ってもらうきっかけとなった。

### ◆田代地区の取り組み◆

田代地区では昨年度一時避難所開設の協定を調印した地元企業の(株)渡会電機土木田代工場の見学も兼ね、10月11日に一時避難訓練を実施し20名が参加した。工場内にある災害備蓄品の確認や非常食の試食など、防災意識の高揚が図られた。



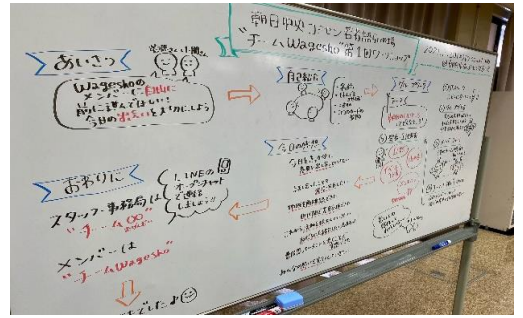
株式会社渡会電機土木 田代工場

## 令和2年度 朝日地域の取り組み

### 【朝日中央地区の取り組み】



『チームWagesho』(チーム わげしょ)立上げ  
R3年2月20日(土)『チームWagesho』の第1回  
ワークショップを開催しました。若者が自由に集  
まり語り合える場を作り、自分達の地域や未来を  
考えようということで、16人(含スタッフ)が集まりま  
した。R3年度からは本格的に活動をします。



### 【朝日南部地区の取り組み】



『冬空きらめきナイト』R3年2月27日(土)開催  
コロナ禍で落ち込んだ雰囲気を吹き飛ばそう  
と、除雪作業の慰労も兼ねて企画した今年初の  
事業です。コミセン前駐車場で、自分達で花火  
を打ち上げ、75人が参加した老若男女一緒に  
楽しめた久々の事業となりました。



### 【朝日東部地区の取り組み】



『東部かまくら祭り』R3年2月28日(日)～3月5日  
(金)開催。大網田麦俣長生会の皆さんが  
作った大きなかまくらと雪の滑り台で、朝日保育  
の園児1歳児から5歳児までの86人が、元気  
一杯にソリ遊びをした後、かまくらで甘酒のおや  
つタイムを楽しみました。



## 温海地域の取り組み状況

### ●温海第1地区自治会の取り組み



温海第1地区自治会では、管内自治会の役職員を対象に、旧小学校を活用した地域づくりについて学ぶため、先進地である酒田市日向地区への視察研修を行いました。日向コミュニティーセンターを見学し、日向コミュニティー振興会の工藤事務局長より取り組み事例をお話いただきました。

### ●温海第2地区自治会の取り組み



温海第2地区自治会では、役職員研修会として加茂地区自治振興会事務局長の佐藤祥子氏より加茂地区での地域づくり活動について講演いただきました。加茂地区の取組を通して少子高齢化における自治会の運営・事業について学び、講演後はグループワークも行いました。

### ●温海第3地区自治会の取り組み



温海第3地区自治会では、地域づくり研修会を毎年開催しており、今年度は朝日東部地区自治振興会ローカルデザイナーの渡部恵美氏より朝日東部地区における「小さな拠点」の取組について講演いただき、また地元消防団や地域おこし協力隊員からも活動状況や取組についてお話を伺いました。

### ●温海第4地区自治会の取り組み



温海第4地区自治会では、防災サポート出前講座を活用し新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設・運営を学ぶため研修会を実施しました。ダンボールベットや簡易トイレの組み立て方についても参加した全員で体験しました。